

PFAS処理技術研究委員会 一般公開セミナー

Lessons from the USA:
PFAS Risk Mitigation in Water System

米国の先進事例から学ぶ

水道におけるPFAS処理とリスク管理

日時：2025年5月8日(木) 14:00-16:45

会場：一橋講堂 東京都千代田区一ツ橋2-1-2
同時通訳あり, Zoom併用

主催：(公社)日本水環境学会

後援：環境省・全国環境研協議会

参加費(税込)

会員 8,000円 非会員 16,000円

学生会員 3,000円 学生非会員 4,000円

申込締切 4月21日(月)

「永遠の化学物質」と呼ばれるPFASは、高い環境残留性や生体蓄積性から世界的な問題となっています。特にPFASによる飲用水源の汚染は人間の健康に影響を及ぼす可能性があり、その除去技術と管理手法の確立が急務です。本セミナーでは、日本国内のPFAS問題解決に向けた示唆を得ることを目的とし、PFAS対策に先進的に取り組んでいる米国から、ノースカロライナ州立大学のDetlef Knappe教授と、オレンジカウンティ水道局のChris Olsen氏をお招きします。米国におけるPFAS規制や水処理技術、運用上の課題と対策についてご講演いただきます。



公益社団法人 日本水環境学会



招待講演者



Detlef Knappe 教授 デトレフ クナッペ

ノースカロライナ州立大学土木・建設・環境工学部特別教授。専門分野は飲料水の品質管理, 水処理技術, 有機微量汚染物質の挙動。PFAS研究において世界的に著名であり, 「Superfund Research Center on the Environmental and Health Effects of PFAS」の副所長を務める。さらに, アメリカ水道協会(AWWA)の有機汚染物質研究委員会および活性炭標準委員会のメンバーとして重要な役割を担い, 水質管理の国際基準設定に貢献している。AWWA Water Science誌副編集長, ノースカロライナ州科学諮問委員会メンバー。



Chris Olsen 氏 クリス オルセン

カリフォルニア州オレンジカウンティ水道局(Orange County Water District, OCWD)のエンジニアリングおよび水資源担当エグゼクティブディレクター。エンジニアリング業界で26年以上の経験を持ち, 2006年からOCWDに勤務。OCWDでは, 19の都市や水道事業体との調整を行うほか, 長期戦略計画や財務予測, 資本改善プログラムの策定を担当。さらに, PFAS汚染地下水の浄化対策として35以上の処理施設の設計・建設を推進している。

プログラム

13:30-14:00	開場・受付	
14:00-14:05	開会挨拶	
14:05-14:20	国内からの話題提供	環境省
14:20-15:20	State- and federal-level responses to PFAS in the USA	
	米国における州および連邦レベルのPFAS対策	Detlef Knappe教授
15:20-16:20	OCWD response to PFAS	
	オレンジカウンティ水道局におけるPFAS対策	Chris Olsen氏
16:20-16:40	QAセッション	
16:40-16:45	閉会挨拶	

申込方法

4月21日(月)までに右のQRコードまたは以下のURLよりお申込みと参加費のお振込みをお願いします(厳守)。ご入金確認後, E-mailで参加情報をお送りします。
<https://forms.gle/HDaMthKWN9eMCED27>

振込先

三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店(普通) 0754950
(公社)日本水環境学会セミナー口
シャ)ニホンミズカンキョウガツカイセミナーグチ

問合せ先

参加申込・入金関係	セミナー内容関係
日本水環境学会 セミナー係 seminar_info@jswe.or.jp tel.: 03-3632-5351	PFAS処理技術研究委員会 事務局 原 hiroeyh@se.kanazawa-u.ac.jp

申込QR



参加費(税込)

会員	8,000円
非会員	16,000円
学生会員	3,000円
学生非会員	4,000円

同時通訳に関するご案内

通訳はZoomの同時通訳機能を用いるため, 会場参加の方も, スマートフォンまたはPCでZoomにアクセスする必要があります。お手数ですが, スマートフォンまたはPCとイヤホンをご持参ください。会場のWiFiは使用可能です。

